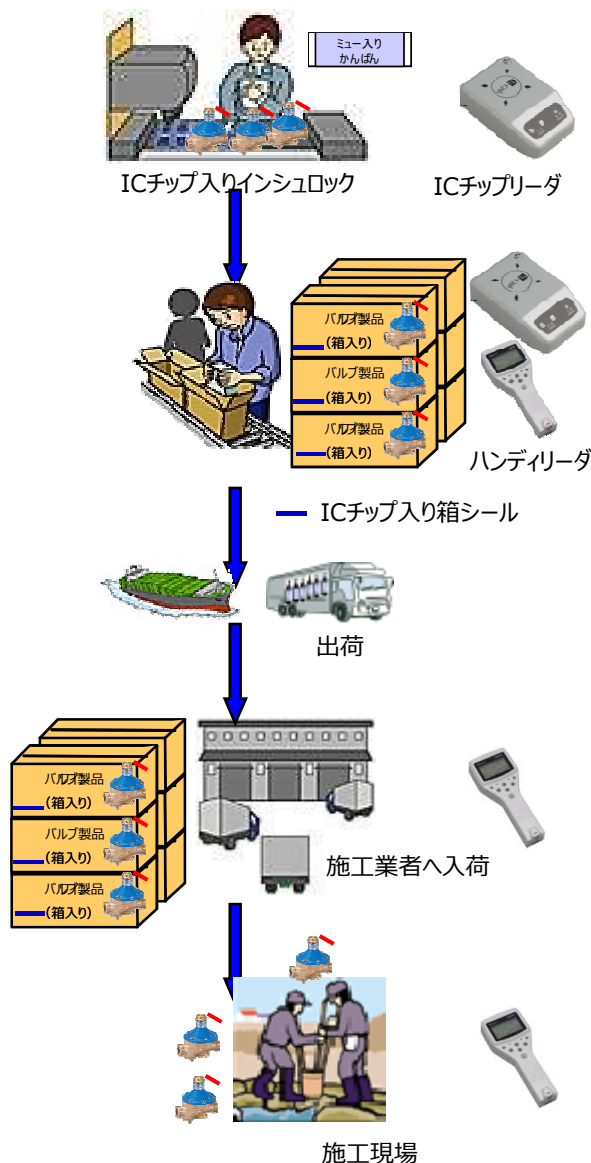


生産・出荷・設置

システム



生産情報の記録

ICチップ内蔵の作業かんぱんを発行し、製品製造に関する情報をRFIDリーダを介して入力します。入力情報は生産情報としてデータベースへ記録されます。
製造ロットNo. (かんぱん)、部品個品No. (ID)、工程名 (設置リーダID)、通過日時 (システム) ほかの情報を送信します。

梱包・出荷情報の記録

どの箱 (ICチップ入り箱シール) に、どの製品 (ICチップ入りインシュロック) を梱包したかをハンディリーダ又は据置きタイプのリーダで一括読み取りします。システム側では、箱IDと製品IDを紐付けて箱単位で在庫管理します。出荷の際には予めハンディ側に出荷指示IDと箱IDをダウンロードしておくことで正確なピッキング作業ができます。

取引先 (拠点) での入荷

梱包箱に入れた状態で拠点又は施工業者へ出荷します。施工業者では、どの製品をいつ入荷したかの情報を梱包箱又は製品のICチップを読み取りPCを介してメーカーデータベースに送信します。梱包箱の中の製品は紐付けされていますので、個品単位での情報となります。

設置・点検情報の記録

施工業者が、現場に設置又は設置品の点検時に、設置・点検に関する情報をハンディから入力します。
①現場ID
②設置・点検日 (システム日付)
③点検結果情報
④設置担当者

ハンディリーダから数字入力できないため10キーシートを用意し、コードにICチップIDを紐付けて入力する方法もあります。

また、入力した情報は帰社した際に、PCを介してサーバへ送信します。

個品ごとの生産情報

梱包 (箱詰) 情報
出荷指示情報
出荷実績情報



出荷 (入荷) 実績

設置・点検情報